



FUJITEC

2022年3月期 第1四半期連結業績概要

2021年8月6日

標準型マシンルームレス・エレベータ
エクシオール

フジテック株式会社

(東証一部：6406)

【2021年度第1四半期の概況】

- 第1四半期は、前年同四半期比 売上高16.3%増、営業利益169.1%増の増収増益
- 受注高は、前年同四半期比 16.6%増
- 全セグメントで増収増益。東アジアでは新設・アフターサービスの増加で売上高は大幅増。日本・東アジア・北米で採算が改善し営業利益に貢献
- 新生活様式の対応としてエアータップ（エレベータ非接触ボタン）が新設・既設ともに国内外で好調。エバーフレッシュ（エスカレータハンドレール除菌装置）も設置が進む
- グループ全体で感染症拡大防止として、お客さまや関係先、従業員の“安全・安心”の確保を最優先とした安全対策と直行直帰・在宅勤務などの3密回避の行動を継続

【戦略的方向性の取り組み】

- 「アフターマーケット事業への注力」今年4月に組織体制を強化
- 「成長市場での事業拡大」価格競争力に優れたグローバル標準機種 of 供給体制確立
- 「収益力向上」生産自動化・グローバル調達、IT活用で業務プロセス革新を実行
- コーポレート・ガバナンス強化として、取締役会の多様化（社外取締役比率55%、女性2名）を推進、譲渡制限付株式報酬制度の導入を決定

第1四半期業績ハイライト

FUJITEC

- 第1四半期の連結決算は、前年同四半期比 増収増益
- 営業利益は、前年同四半期比 169.1%増の38億円

(単位：百万円)

	2020年度 1Q	2021年度 1Q	前年同四半期比(%)
売上高	34,103	39,656	16.3
国内	14,713	16,214	10.2
海外	19,390	23,441	20.9
営業利益	1,438	3,870	169.1
経常利益	1,746	4,253	143.6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,293	3,337	157.9
1株当たり四半期純利益	15.96円	41.13円	—

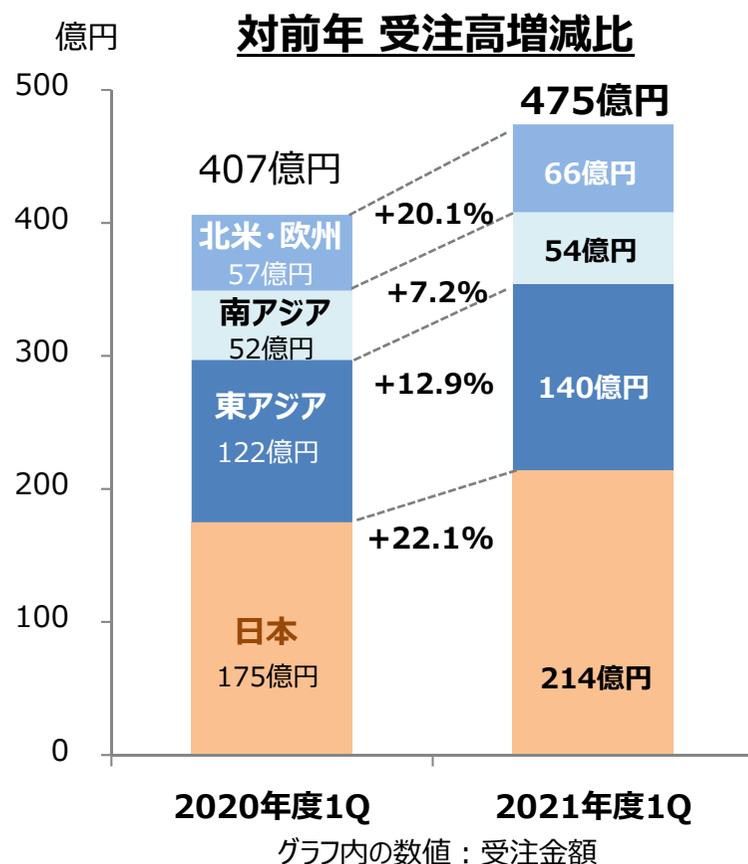
対米ドル円為替レート

109.35円

104.74円

第1四半期 受注高

- 当期の受注高は、前年同四半期比 16.6%増。国内・海外ともに受注が増加



【国内】214億20百万円(前年同四半期比 22.1%増)

- 新設事業
 - 大型案件の受注で好調
- アフターマーケット事業
 - モダニゼーションの大型案件受注
 - 保守は、高い契約率を維持し堅調に推移

【海外】261億24百万円(前年同四半期比 12.5%増)

- 新設事業
 - 東アジアは、中国で増加
 - 南アジアは、シンガポール・インドネシア・マレーシアで減少するも、インドで大きく増加
 - 北米・欧州は、米国で増加
- アフターマーケット事業
 - 東アジアは、香港で保守、韓国でモダニゼーション工事が増加
 - シンガポール・米国でモダニゼーションの大型案件受注

第1四半期セグメント別業績



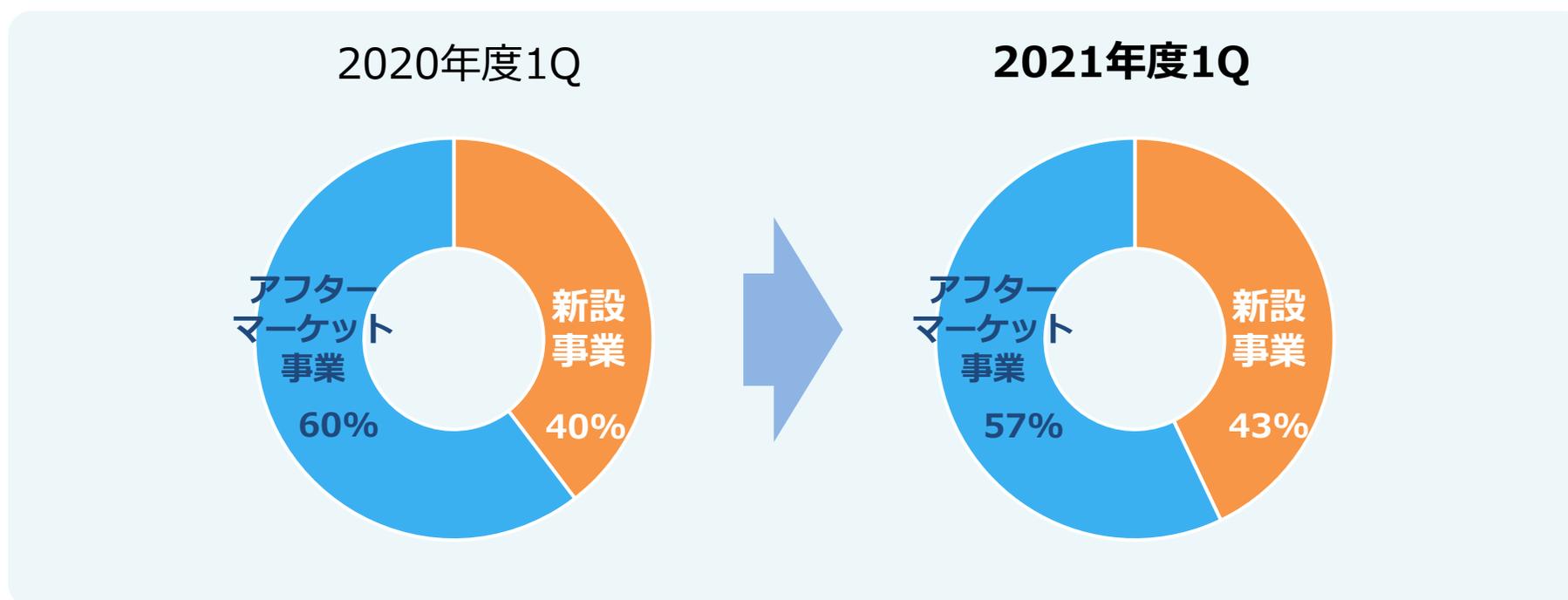
- 全セグメントで、増収増益。売上高増加に加え、採算性の改善が営業利益に貢献

(単位：百万円)

	売上高			営業損益		
	2020年度 1Q	2021年度 1Q	増減(%)	2020年度 1Q	2021年度 1Q	増減額
日 本	15,455	16,964	9.8	130	1,024	893
東 ア ジ ア	10,754	14,677	36.5	723	1,453	729
南 ア ジ ア	4,070	4,354	7.0	801	1,126	324
北米・欧州	5,918	6,091	2.9	△236	306	542
小 計	36,199	42,088	16.3	1,419	3,909	2,490
調 整 額	△2,095	△2,432	—	19	△39	△58
合 計	34,103	39,656	16.3	1,438	3,870	2,432

事業別売上高構成比率

- 前年同四半期と比較すると新設事業の回復が進み、割合が増加



「新たな戦略的方向性」の取り組み

FUJITEC

- グローバルで、お客様の信頼に応える“安全・安心”な商品を継続的に提供し、持続的成長と企業価値向上を目指す

■ アフターマーケット事業への注力

- 組織体制の強化
 - ✓ サービス事業本部新設（開発から保守の一貫体制強化）
 - ✓ グローバル市場のモダニゼーション事業支援専任組織を設置

■ 成長市場での事業拡大

- 価格競争力に優れたグローバル標準機種種の供給体制確立と事業推進体制の強化
 - ✓ 中国での直販体制と大型案件の獲得によるブランド力向上
 - ✓ シンガポールを軸とした南アジア地域販売体制の構築

■ 収益力向上

- グローバル生産体制とITの活用による業務プロセス革新で収益性向上を目指す
 - ✓ 標準機のグローバル調達拡大・生産自動化による製造コストの削減
 - ✓ 3Dデザインシミュレーターと基幹システムのデータ連携による販売・設計・生産の自動化

「新しい生活様式」への対応

- 独自の技術で、お客様のニーズに合致した商品・サービスを提供
- エアータップ（非接触ボタン）など、国内・海外で設置が進む

エアータップ エレベータ非接触ボタン



街のランドマークにも設置が進む



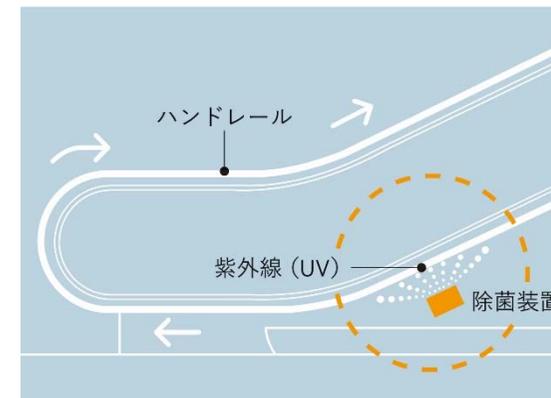
GINZA PLACE
(日本・東京)



東急プラザ銀座
(日本・東京)

エレベータのボタンに触れずに簡単操作で、
呼び登録・行先階登録が可能

エバーフレッシュ エスカレータハンドレール除菌装置



エスカレータのハンドレールに紫外線を照射する
装置を取り付けて、自動除菌

持続可能な社会に向けて

- 新しい時代にふさわしい、美しい都市機能の実現を目指します

“安全・安心”・快適な空間移動システムの開発



タッチレスでエレベータを操作可能な新たな手法として、顔認証を活用したシステムを開発

国連グローバルコンパクト署名

WE SUPPORT



今年4月、SDGsの推進に向けて、持続可能な世界を実現する枠組み「国連グローバルコンパクト」に署名

エスカレータのリニューアルで、環境性能向上



フィットinトラス工法のイメージ

当社独自のリニューアル工法（フィットinトラス・ユニットinトラス）は、既設構造の再利用で、製作・運搬・処理等のCO2排出量を削減

コーポレート・ガバナンスの強化

- さらなる企業価値の向上を目指した経営基盤の構築

取締役会の多様性（全9名）

- 社外取締役：5名
- 女性取締役：2名



社外取締役比率：55%

譲渡制限付株式報酬制度の導入

- 対象：取締役（社外取締役除く）
- 総額：年額1億円以内
- 株式報酬型ストックオプション制度廃止

FUJITEC

参 考 資 料



クリエイティブ スタジオ ビッグウィング (滋賀県彦根市)

第1四半期連結バランスシート

FUJITEC

(単位：百万円)

	2021/3末	2021/6末	増減額	備考
流動資産	149,393	152,560	+3,166	
現金及び預金	68,348	71,992	+3,644	日本、東アジア、南アジアでの増加
受取手形、売掛金及び契約資産	59,022	60,034	+1,011	
棚卸資産	19,247	15,337	△3,909	東アジアでの減少
その他	5,150	8,045	+2,894	
貸倒引当金	△2,375	△2,849	△473	
固定資産	55,803	56,936	+1,133	
有形固定資産	33,786	33,873	+86	設備投資+613 減価償却△727 為替ほか+200
無形固定資産	4,680	4,877	+197	
投資その他の資産	17,336	18,185	+849	
総資産	205,196	209,496	+4,300	
流動負債	74,152	72,532	△1,619	前受金△1,103 電子記録債務△1,079 支払手形及び買掛金△808 賞与引当金+781 工事損失引当金+393
固定負債	5,778	5,839	+60	
純資産	125,264	131,123	+5,858	為替換算調整勘定+4,505 非支配株主持分+1,142 親会社株主に帰属する四半期純利益+3,337 配当金△3,260 収益認識基準等+140
自己資本比率	54.8%	55.9%	+1.1%	
B P S	1,385.45円	1,443.07円	+57.62円	

2022年3月期連結業績の計画

FUJITEC

- 2021年5月公表時から変更なし
- 売上高は1,840億円で最高を更新し、営業利益は改善が進む

(金額単位：百万円未満切り捨て)

	2020/3	2021/3	2022/3 (計画)	前期比 増減率(%)
売上高	181,232	169,573	184,000	8.5
営業利益	13,375	13,288	13,900	4.6
経常利益	14,682	14,633	14,400	△1.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,916	9,287	9,300	0.1
1株当たり当期純利益	122.46円	114.52円	114.60円	—

配当の状況

- 2021年5月公表時から変更なし
- 当期配当は、1株当たり年間配当60円を予定。配当性向は、52.4%

(単位：円)

	2020/3	2021/3	2022/3 (予定)
配当金	50	60	60
中間	20	20	25
期末	30	40	35
配当性向	40.8%	52.4%	52.4%

主な受注・納入実績



新設工事

モダニゼーション工事

進行中



大阪梅田ツインタワーズ・サウス
(日本・大阪)
エレベータ・エスカレータ計30台

受注



PRESTIGE TECH CLOUD
(インド・バンガロール)
エレベータ47台

受注



Galleria III
(米国・テキサス州)
エレベータ15台

受注



Maipu II
(アルゼンチン・ブエノスアイレス)
エレベータ9台

会社概要

FUJITEC

社名	フジテック株式会社
設立	1948年2月 (1974年2月東証第一部上場)
本社	ビッグウイング 滋賀県彦根市宮田町591番地1
事業内容	エレベータ、エスカレータの研究開発・製造・販売 据付・保守
資本金	125億33百万円（発行済株式数85,300,000株）
役員	代表取締役社長 内山高一 取締役：9名（うち社外5名） 監査役：4名（うち社外3名）
従業員数	連結 10,515名（単独 3,188名）
関係会社	34社（内、連結子会社19社） （米州、東アジア、南アジア、欧州・中近東）

本資料は、当社の事業及び業界動向について当社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確かさが伴っています。既に知られた、もしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2021年8月6日現在において利用可能な情報に基づいて、当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

2021年8月6日

フジテック株式会社

2022年3月期 第1四半期連結業績概要

